



すずらん

天理市立福住小学校
令和2年2月27日
文責 神元 聡

たのしく ただしく たくましく NO. 10

薄氷（うすらい）

薄氷（うすらい）とは、春浅いころの薄く張った氷のこと。冬の氷と違い、薄くすぐ割れるので、淡くはかない感じがする春の季語です。先日、薄い氷を手に「先生！ほら、氷！」と児童が登校してきました。あちらでは、子どもたちが、水たまりの氷を割って遊んでいます。赤い長靴が遠くからでもぴかぴか光って見えます。私も、幼い頃、水たまりの氷をよく割って遊びました。薄氷を足で強く踏むと透明で透き通っていた氷に、弾丸が刺さったかのような白い細かいひびが入ります。すると、茶色の泥水が氷の上にニュツと滲み出てきます。この何ともいえない変化美に魅了され、ずっと薄氷と戯れていた少年の日を思い出します。

さて、福住では2月11日に、氷まつり（氷出し）が行われました。3トンの氷が井之市の氷室に奉納され、7月まで保存されます。地球温暖化の影響でしょうか。桜の蕾ももう膨らみかけています。今年は、どれく氷が残っているのか、まさに薄氷（はくひょう）を踏む思いです。



6年生 今までありがとう集会！

6年生に感謝の意を表すため、1年生から5年生の児童たちが、ひとつひとつ手作りで創りあげた集会が、先週の金曜日開催されました。在校生でつくる花のアーチによる歓迎をうけて集会がスタートしました。続いて「しっぽとり」「けいどろ」をして、6年生と楽しいひとときを過ごしました。そしてメインの6年生へのプレゼント贈呈です。在校生の心のこもったプレゼントに6年生の顔も緩みっぱなしでした。その後は、在校生「栄光の架橋（ゆず）」と先生方「ふるさと（嵐）」による歌のプレゼント。6年生に感謝の気持ちを伝えました。最後に、6年生から一言ずつ後輩たちにお礼の言葉をもらって、在校生によるアーチをくぐって終了しました。いつもながらの、あったかい感じのする集会でした。6年生の皆さん！今までありがとう！



新型肺炎感染拡大について

ホームページでもお知らせしているとおり、新型コロナウイルスの感染が国内で広がっています。25日に政府から新型コロナウイルス感染の基本方針が発表されました。そこでは、ここ1～2週間の動向が感染が拡大するかどうかの瀬戸際であるとされています。福住小学校でも「卒業遠足」や「福住大好き集会」など感染拡大防止のため中止させていただきました。今後も、情報を精査し関係機関と連携を密にして対応していきたいと考えております。保護者の皆様におかれましても、正しい情報の収集に努めるとともに、お子様の健康管理に引き続きご留意いただくようお願いいたします。